

2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月9日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表取締役社長 山下 正弘



■第2四半期(連結)決算の概況

■主要製品(国内・海外)及び後発品の動向

■通期(連結)業績予想と配当

■研究開発パイプラインの状況

◇2011年度上期の進捗状況と2011年度下期の取り組み

2012年3月期 第2四半期(連結)決算の概況

2012年3月期 第2四半期（連結）決算の概観

（単位：億円）

	11年3月期 第2四半期 実績	12年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
売上高	467	464	△3	0.7%減	△28
営業利益	42	49	+7	16.7%増	△12
経常利益	45	53	+8	15.7%増	△11
四半期純利益	30	34	+4	13.4%増	△6

セグメントの売上高の増減(連結)

(単位:億円)

			11年3月期 第2四半期 実績	12年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
売上高 合計			467	464	△3	0.7%減	△28
医薬品事業			454	452	△2	0.5%減	△26
	新医薬品	国内	392	391	△1	0.3%減	△21
		海外	377	381	+4	1.1%増	△18
	後発医薬品		41	41	△0	0.4%減	△5
	一般用医薬品他		20	20	△0	4.4%減	△0
ヘルスケア事業			13	12	△1	7.6%減	△2

《前年及び当初予想との差異》

(単位:億円)

	対前年増減	対予想増減	増減のポイント
国内新医薬品	+4	△18	震災による3月の流通在庫の増加の影響等により主要製品の売上が予想を下回った
海外新医薬品	△5	△3	ガチフロキサシンの売上等が予想を下回った
後発医薬品	△0	△5	重点品(一部製品の出荷制限等)の売上減、追補品(一部製品の発売延期)の売上が予想を下回った

損益の概要(連結)

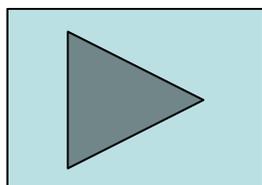
(単位:億円)

	11年3月期 第2四半期 実績	12年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
売上高	467	464	△3	0.7%減	△28
売上原価	171	166	△5	2.8%減	—
販売費及び一般管理費	254	249	△5	2.2%減	—
R&D費	69	61	△8	11.7%減	△4
R&D費を除く販管費	185	188	+3	1.4%増	—
営業利益	42	49	+7	16.7%増	△12
経常利益	45	53	+8	15.7%増	△11
四半期純利益	30	34	+4	13.4%増	△6

《対前年のポイント》

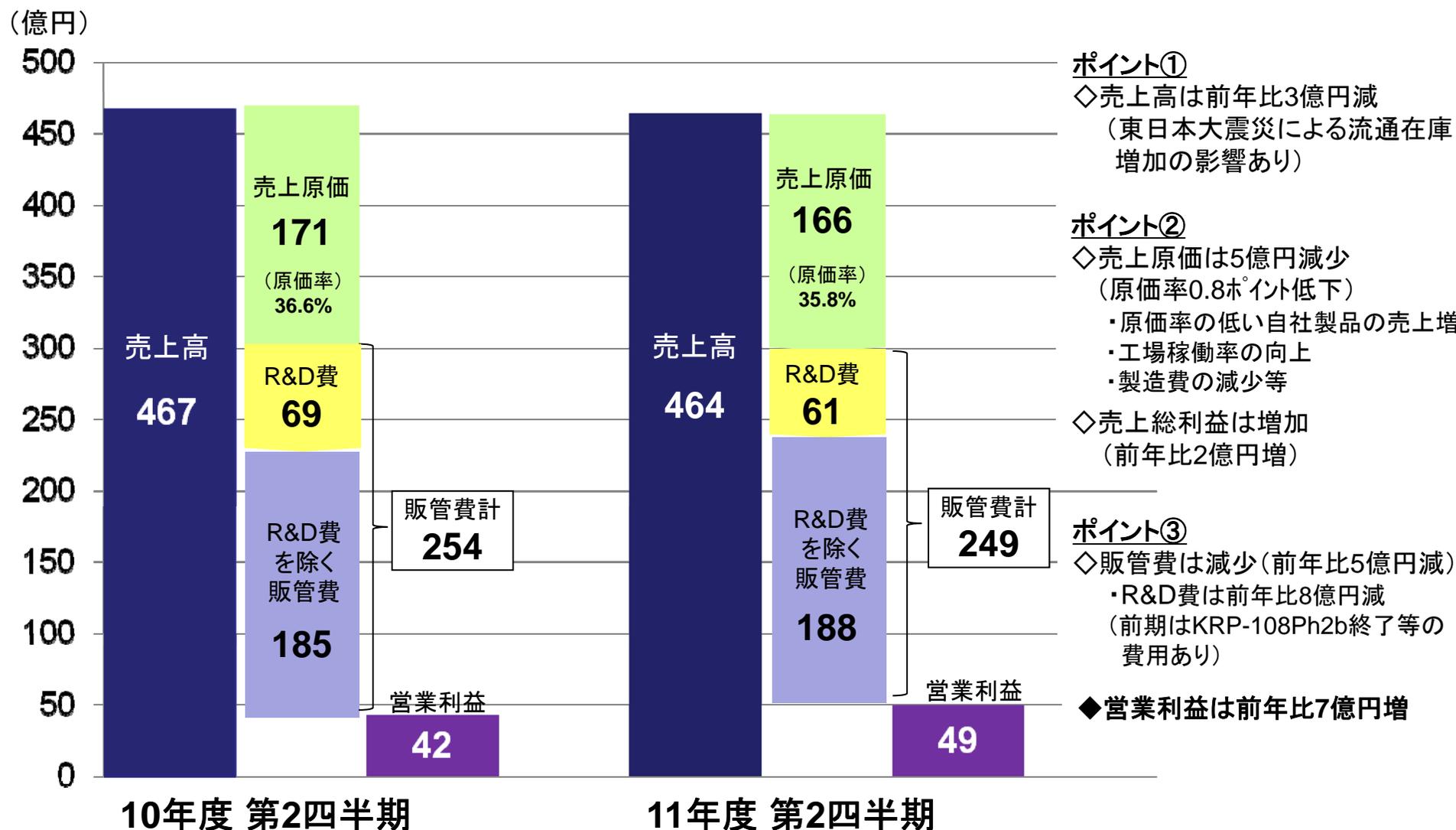
《対当初予想のポイント》

(単位:億円)



	対予想増減	増減のポイント
売上高	△28	国内新医薬品△18億円、海外新医薬品△3億円、後発医薬品△5億円
営業利益	△12	R&D費およびR&Dを除く販管費の圧縮に努め、営業利益の減少を抑制 (R&D費:対予想△4億円)

2012年3月期 第2四半期 業績のポイント



主要製品の売上増減

(単位:億円)

	11年3月期 第2四半期 実績	12年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
キプレス	141	157	+16	11.5%増	△5
ムコダイン	94	91	△3	3.4%減	△6
ペンタサ	99	91	△8	7.3%減	△6
ウリトス	24	29	+5	21.4%増	△1
ガチフロキサシン (海外)	13	8	△5	38.4%減	△3

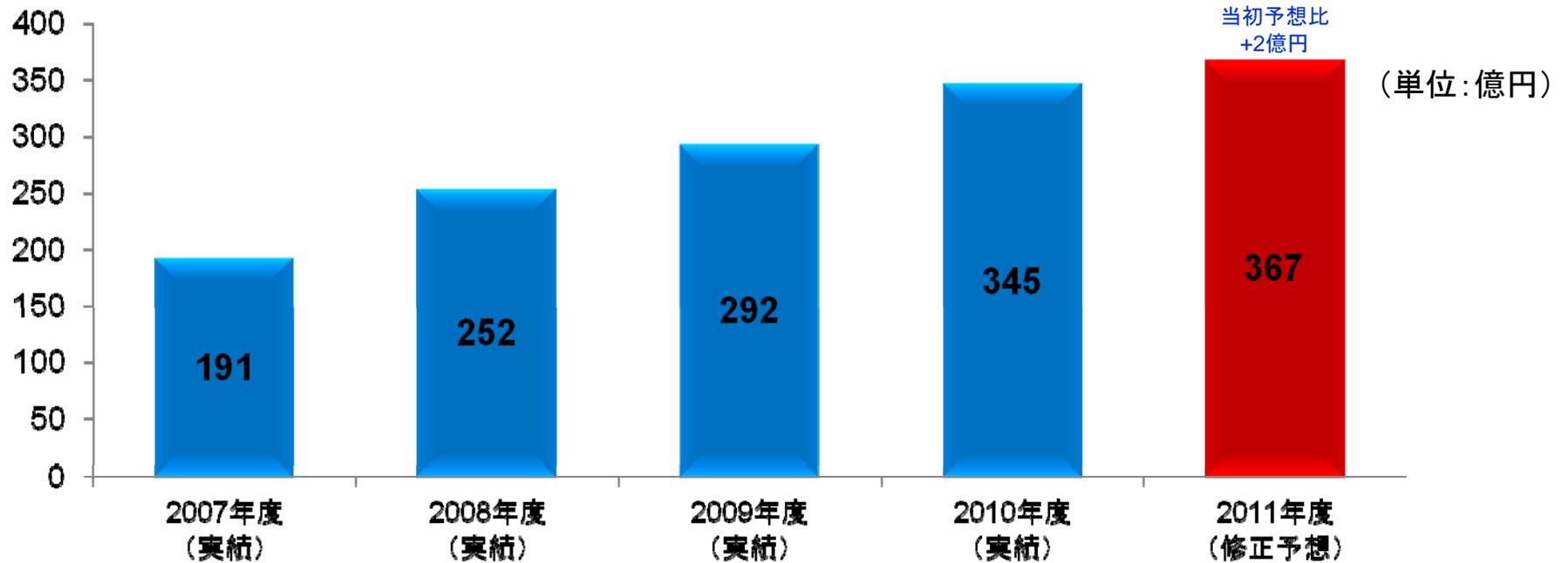
【参考】医療機関向け売上の伸長率(薬価ベース)

キプレス	+16.8%
ムコダイン	+0.8%
ペンタサ	△5.3%
ウリトス	+26.5%

(※ © 2011 IMS ジャパン株式会社 出典:JPM,2011年4-9月をもとに作成 無断転載禁止)

**2012年3月期
主要製品(国内・海外)及び後発品の動向**

キプレス【気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤】

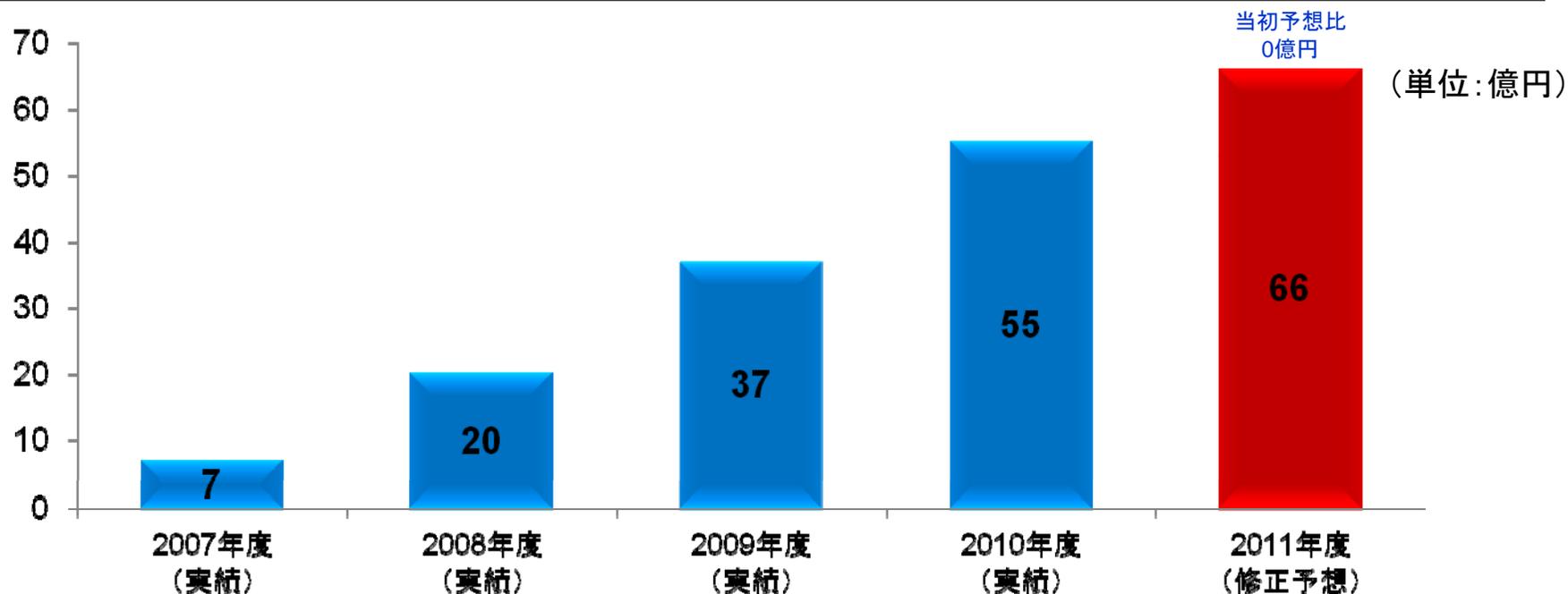


■2011年度の取り組み

- アレルギー性鼻炎 ベース薬としてのポジショニング確立
 - ・アレルギー性鼻炎: 慢性炎症性疾患としての啓発
 - ・エビデンスの構築を推進
- 成人、小児喘息患者さんへの更なる処方促進
- LT拮抗剤におけるマーケットシェアの拡大
31.3%(2011年3月MAT) ⇒ 32.2%(2011年9月MAT)

(© 2011 IMS ジャパン株式会社 出典: JPM, 2011年3月MAT/2011年9月MATをもとに作成 無断転載禁止)

ウリトス 【過活動膀胱治療剤】



■2011年度の取り組み

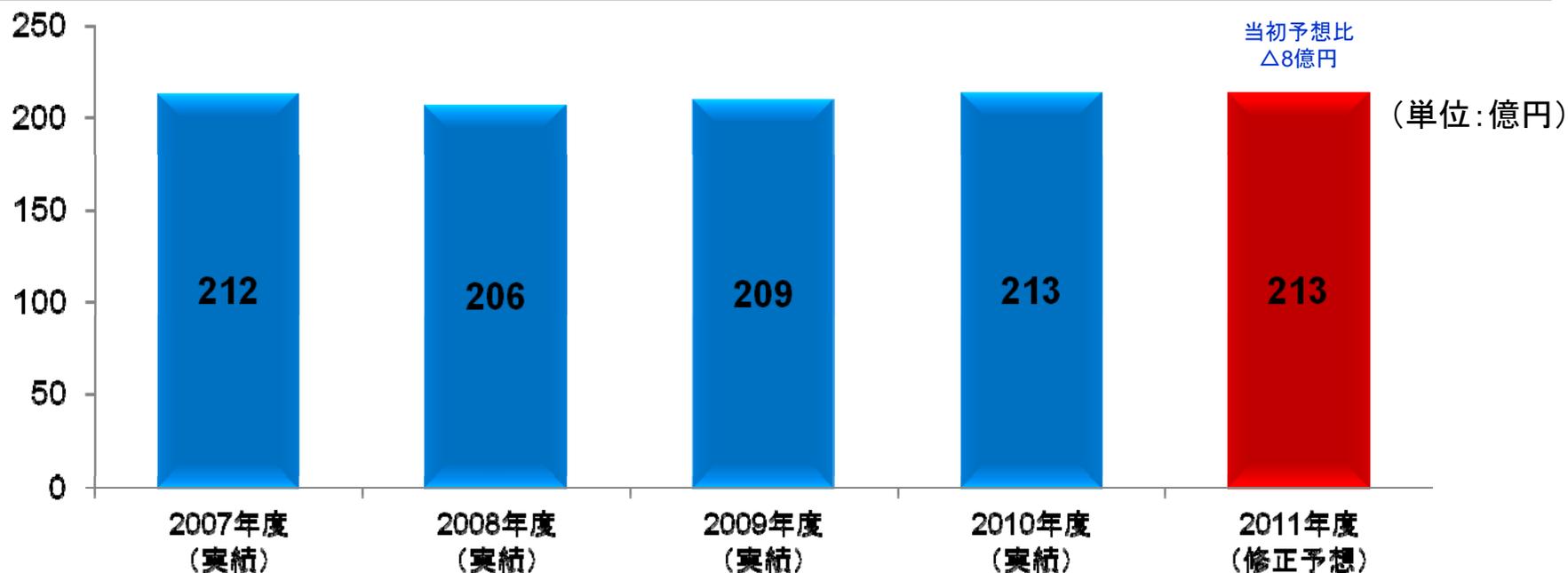
- **潜在市場の掘り起こし**
OAB市場: 600億円 (2011年3月MAT) ⇒ 620億円 (2011年9月MAT)
- **新剤型 (OD錠) による市場浸透とファーストチョイスでの処方化**
2011年4月発売開始 ※OD錠: 口腔内崩壊錠の略

●OAB市場でのウリトス シェアの拡大

	2011年3月MAT		2011年9月MAT
ウリトス	9.3%	⇒	10.1%
【参考】イミダフェナシン	19.3%	⇒	20.4%

(© 2011 IMS ジャパン株式会社 出典: JPM, 2011年3月MAT/2011年9月MATをもとに作成 無断転載禁止)

ムコダイン【気道粘液修復・粘膜正常化剤】

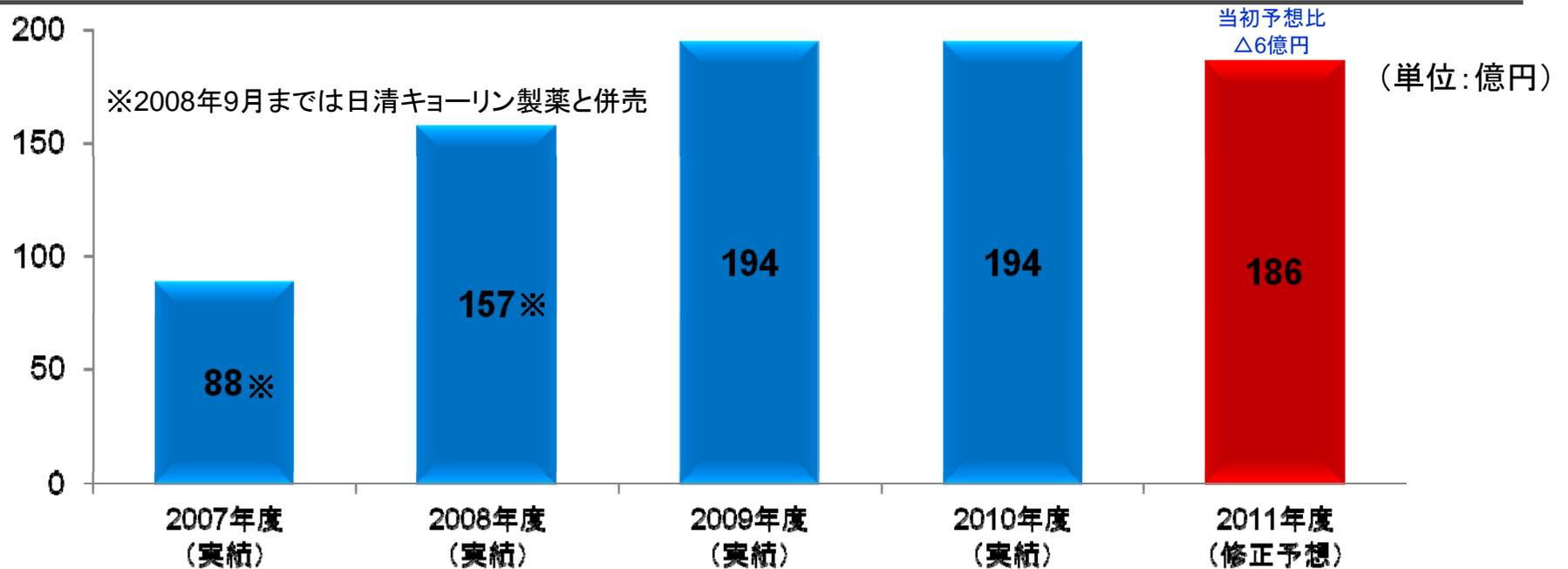


■2011年度の取り組み

- 2010年度新発売した「DS50%」の普及
幅広い年齢層での処方
- エビデンスデータ活用による処方拡大
慢性呼吸器疾患、慢性副鼻腔炎
- マーケットシェアの拡大
47.9%(2011年3月MAT) ⇒ 48.3%(2011年9月MAT)

(© 2011 IMS ジャパン株式会社 出典: JPM,2011年3月MAT/2011年9月MATをもとに作成 無断転載禁止)

ペンタサ 【潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤】



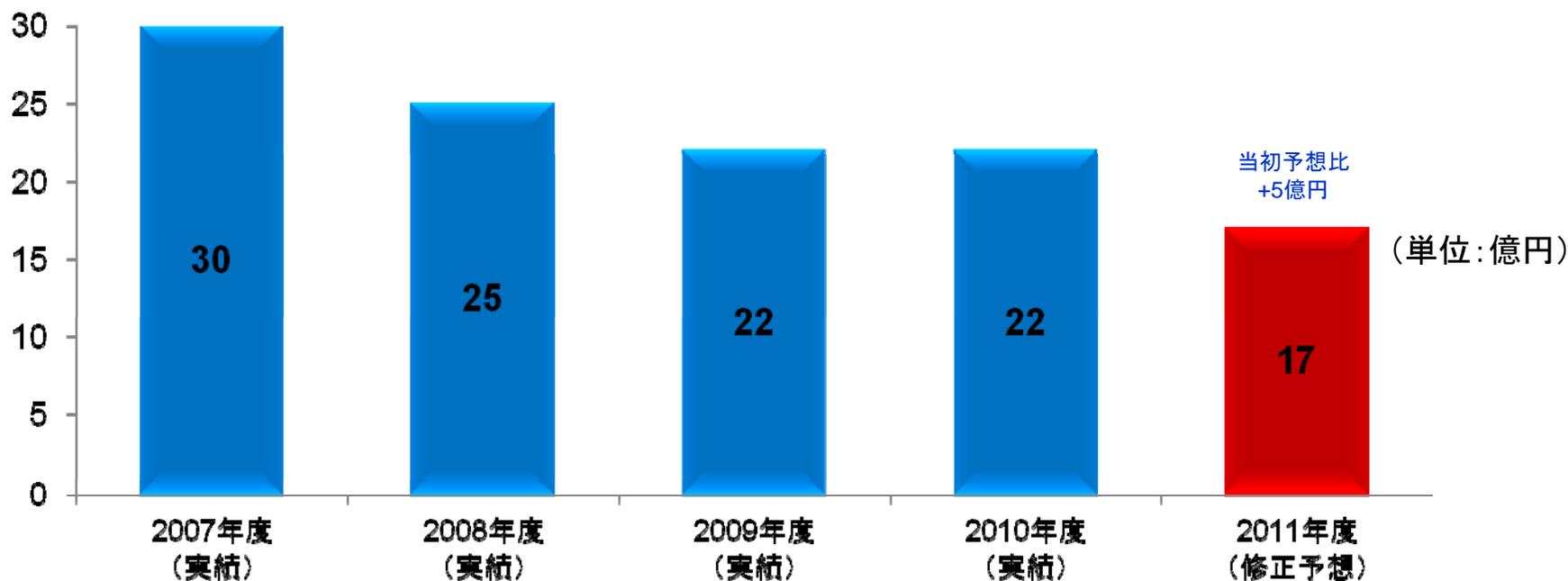
■2011年度の取り組み

- UCでの基準処方への定着化 ※UC:潰瘍性大腸炎の略
 - ・多剤形によるニーズへの対応等
- メサラジン製剤の市場拡大とマーケットシェアの推移
 - ・メサラジン製剤の市場は約13%拡大(患者数は約7%増加)
265億(2010年9月MAT) ⇒ 300億(2011年9月MAT)
 - ・ペンタサのシェア
80.2%(2010年9月MAT) ⇒ 68.2%(2011年9月MAT)

(© 2011 IMS ジャパン株式会社 出典: JPM,2010年9月MAT/2011年9月MATをもとに作成 無断転載禁止)

- 新用法・用量(1日1回)、新剤型(坐剤)の開発を推進

ガチフロキサシン 【抗菌点眼剤(海外)】



■2011年度の取り組み

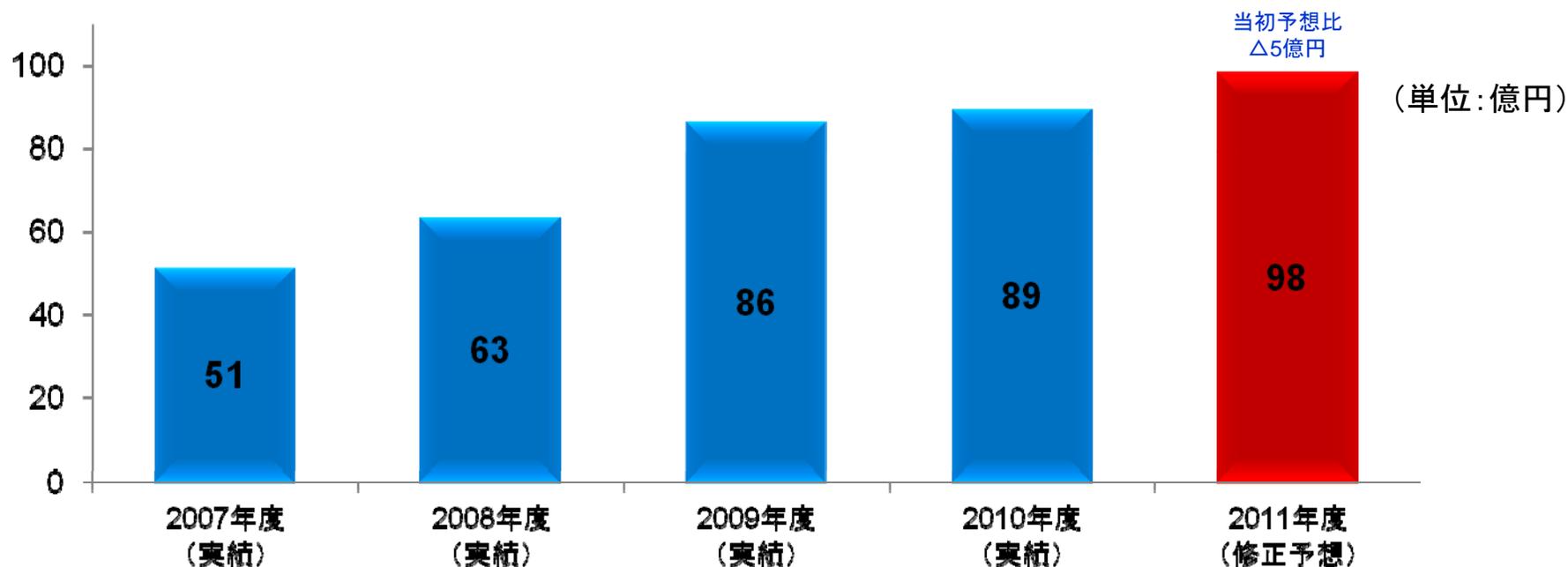
●ガチフロキサシン点眼液高濃度製剤の展開(アラガン社)

- ・ザイマキシド(Zymaxid):0.5% 2010年6月に発売
- ・ザイマー(Zymar):0.3% 2011年3月販売中止

【参考】ザイマー及びザイマキシドの売上:2010年度上期 \$50MM ⇒ 2011年度上期 \$49MM

●2011年10月末現在、GEの発売はなし(米国)

後発品事業の状況



■2011年度の取り組み

- 卸店販売ルート強化
- 2011年度追補品の売上拡大
 - ・エダラボンの病院層での拡大
 - ・新たな追補品5成分8品目を発売予定(11月)
- アライアンスの推進
 - ・受託品の拡大
 - ・共同開発の促進

2012年3月期 通期(連結)業績予想と配当

2012年3月期 業績予想(連結)

(単位:億円)

		2011年3月期 実績	当初予想	2012年3月期 修正予想	当初予想 との差違	対前年 増減	前年同期比 (%)
売上高合計		1,041	1,065	1,051	△14	+10	1.0%増
	医薬品事業	1,013	1,035	1,022	△13	+9	1.0%増
	ヘルスケア事業	28	30	28	△2	+0	2.7%増
営業利益		164	166	149	△17	△15	9.4%減
経常利益		171	172	156	△16	△15	8.8%減
当期純利益		109	109	101	△8	△8	7.6%減

《通期予想修正のポイント》

(単位:億円)

		対予想増減	増減のポイント
売上高合計		△14	
	国内新医薬品	△9	上期の状況を勘案し主要製品の売上を修正
	海外新医薬品	+4	ガチフロキサシンの売上を上方修正
	後発医薬品	△5	重点商品、追補品の売上予想を下方修正
	その他	△4	一般用医薬品他、ドクタープログラムを下方修正
営業利益		△17	開発パイプラインの進展により、R&D費を8億円増(当初予想:134億円、修正予想:142億円)

《対前年同期のポイント》

【参考】

- ・売上原価率は前年同期比約1ポイント低下
- ・研究開発費は前年同期比で17億円増
(R&D費を含む販管費比率は前年同期比約2ポイント上昇)

2012年3月期 主要製品及び後発品事業の売上予想

(単位: 億円)

	2011年3月期 実績	当初予想	2012年3月期 修正予想	当初予想 との差違	対前年 増減	前年同期比 (%)
キプレス	345	365	367	+2	+22	6.5%増
ムコダイン	213	221	213	△8	+0	0.5%増
ペンタサ	194	192	186	△6	△8	4.0%減
ウリトス	55	66	66	△0	+11	20.2%増
ガチフロキサシ (海外)	22	12	17	+5	△5	22.7%減
後発品事業	89	103	98	△5	+9	10.3%増

株主還元について

基本方針

成長のための投資、事業継続のための投資、株主還元をバランスよく実施し、経営基盤の強化を図ります。株主還元は配当性向30%を目処に実施します。

当期純利益の推移

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (当初予想)	2012年3月期 (修正予想)
当期純利益(億円)	109	109	101

配当の推移

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (当初予想)	2012年3月期 (修正予想)
1株当たり配当金(円)	45.00	45.00	45.00
連結配当性向(%)	30.8	30.9	33.3

■将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。